

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H29.12.15	検出せず	64	64
	飛灰		検出せず	100	100
	使用済み脱臭用活性炭	H30.3.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年4月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	4月5日	4月19日
測定結果	0.048 ~ 0.057	0.047 ~ 0.057

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H29.12.15	検出せず	64	64
	飛灰		検出せず	100	100
	使用済み脱臭用活性炭	H30.3.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年5月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	5月10日	5月24日
測定結果	0.043 ~ 0.065	0.050 ~ 0.068

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H29.12.15	検出せず	64	64
	飛灰		検出せず	100	100
	使用済み脱臭用活性炭	H30.3.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年6月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	6月14日	6月29日
測定結果	0.046 ~ 0.055	0.053 ~ 0.067

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H29.12.15	検出せず	64	64
	飛灰		検出せず	100	100
	使用済み脱臭用活性炭	H30.3.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年7月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	7月6日	7月19日
測定結果	0.045 ~ 0.055	0.045 ~ 0.064

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H30.7.10	検出せず	54	54
	飛灰		21	95	116
	使用済み脱臭用活性炭	H30.7.28	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年9月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	9月7日	9月28日
測定結果	0.050 ~ 0.060	0.043 ~ 0.057

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H30.7.10	検出せず	54	54
	飛灰		21	95	116
	使用済み脱臭用活性炭	H30.7.28	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年9月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	9月7日	9月28日
測定結果	0.050 ~ 0.060	0.043 ~ 0.057

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。
し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H30.7.10	検出せず	54	54
	飛灰		21	95	116
	使用済み脱臭用活性炭	H30.7.28	検出せず	検出せず	検出せず
	脱水汚泥	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局)長あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年10月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	10月11日	10月26日
測定結果	0.046 ~ 0.060	0.051 ~ 0.058

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いINaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H30.7.10	検出せず	54	54
	飛灰		21	95	116
	使用済み脱臭用活性炭	H30.11.17	検出せず	検出せず	検出せず
	脱水汚泥	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局長)あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年11月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	11月15日	11月29日
測定結果	0.045 ~ 0.062	0.049 ~ 0.058

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いINaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。
し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H30.7.10	検出せず	54	54
	飛灰		21	95	116
	使用済み脱臭用活性炭	H30.11.17	検出せず	検出せず	検出せず
	脱水汚泥	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局長)あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成30年12月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	12月6日	12月20日
測定結果	0.049 ~ 0.063	0.045 ~ 0.057

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いINaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H31.1.7	12	66	78
	飛灰		検出せず	61	61
	使用済み脱臭用活性炭	H30.11.17	検出せず	検出せず	検出せず
	脱水汚泥	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局長)あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成31年1月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:(株)堀場製作所 PA-1000

	1月11日	1月25日
測定結果	0.047 ~ 0.059	0.046 ~ 0.062

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いINaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H31.1.7	12	66	78
	飛灰		検出せず	61	61
	使用済み脱臭用活性炭	H30.11.17	検出せず	検出せず	検出せず
	脱水汚泥	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局長)あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成31年2月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	2月7日	2月21日
測定結果	0.046 ~ 0.058	0.051 ~ 0.057

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いINaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

し尿処理施設の放射性物質の測定結果について

当組合のし尿処理施設(岡之郷クリーンセンター)では、し尿及び浄化槽汚泥の中間処理を行っております。し尿・浄化槽汚泥の処理に伴い発生した、炭化物(乾燥汚泥)・飛灰や脱臭用活性炭に含まれる放射性物質の濃度を測定しましたので、その結果をお知らせします。

1. 放射性物質の測定結果

測定結果は、下記の表のとおりです。

炭化物(乾燥汚泥)・飛灰については、埋立処分の基準値(8,000ベクレル/kg)を大きく下回っていることから、従来どおり埋立処分を継続しております。

(単位:ベクレル/kg)

施設名	試料名	採取日	放射性	放射性	セシウム合計
			セシウム134	セシウム137	
岡之郷 クリーンセンター	炭化物	H31.1.7	12	66	78
	飛灰		検出せず	61	61
	使用済み脱臭用活性炭	H31.3.16	検出せず	検出せず	検出せず
	脱水汚泥	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず
	し渣	H30.10.17	検出せず	検出せず	検出せず

基準値(8,000ベクレル/kg)について

「一般廃棄物処理施設における放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処理について(平成23年8月29日付通知 各都道府県廃棄物行政主管部(局長)あて 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長)」により放射性物質の濃度が8,000ベクレル/kg以下の焼却灰等については、管理型最終処分場での埋立処分を促進することとされています。

2. 空間放射線量の測定結果

敷地境界部の空間放射線量の測定結果については下記のとおりです。

単位は1時間当りの放射線量(マイクロシーベルト)で表示しています。

測定日:平成31年3月

測定箇所:敷地境界(5箇所)

測定方法:地上1mの高さで測定

測定機器:株堀場製作所 PA-1000

	3月7日	3月20日
測定結果	0.047 ~ 0.058	0.046 ~ 0.057

単位:マイクロシーベルト/時間

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」に規定する、汚染状況重点調査地域の指定要件とされている放射線量値は、0.23 μ Sv/hです。

RDS-30で測定を始めましたが、平成24年7月5日より精度の高いNaIシンチレーションサーベイメータに変更しました。

平成24年1月より空間放射線量の測定を実施してきましたが、特別措置法の対象外施設であり測定結果についても基準値以下(0.23 μ Sv/h)でありますので、3月分をもちまして測定を終了いたします。なお、放射性物質の測定は継続して実施いたします。